

平成 29 年度

2020 年東京五輪へ向けた東商・墨田支部の取り組み

【墨田支部による取組】

声かけ・サポート運動ポスターを区内地域金融機関 3 行全支店に掲示依頼（75 枚）（5 月）

「第 2 1 5 役員会・第 8 8 回評議員会」7/20 日開催（80 名出席）

本部支給のロゴ入団扇配布と正副会長・分科会長全員でオリ・パラ法被着用

「夏休み親子アニメ大会」8/23 日開催（622 名参加）

主催者挨拶で、オリ・パラ墨田区ボクシング会場の P R と来場者へ本部支給のロゴ入団扇配布

○「すみだまつり東京商工会議所墨田支部ブース」10/7・8（1,500 名参加）

当支部オリジナル紙芝居「すみだクイズ」の中で 2 0 2 0 年東京オリ・パラに関連したテーマの取り上げと来場者にオリ・パラのロゴ入り団扇を配布

【東京 2020 年応援プログラム認証事業】

セミナー「インバウンドビジネス最前線 インバウンドビジネス活用のヒント」8/8 日開催（33 名参加）

視察会「墨田区工房ものづくり体験ツアー」11/17 日開催

セミナー「地域資源を活用した中小企業の知財戦略」12/13 日開催

視察会「隅田川七福神めぐり」1/7 開催

視察会「建設分科会主催「国立スポーツ科学センター（JISS）」視察会 1/25 開催

<夏休み親子アニメ大会の様子>



当日参加者にオリンピックのロゴ入り団扇が配布され、オリンピック大会について説明がされた。

<役員会・評議員会の様子>



墨田支部の役員がオリンピックのロゴ入りの法被を着て会議に出席、気運醸成を図った。

平成 30 年度

2020 年東京五輪へ向けた東商・墨田支部の取り組み事業予定

大目的・全所的内容については、アクションプログラム参照

墨田支部独自事業

- ・区内製造業若年人材確保支援事業

現在、人手不足が深刻化する中で、特に中小企業では、若年人材確保が困難な状況となっている。2020 オリンピック・パラリンピック東京大会を契機として、若年人材の関心が高く、身近な話題であるスポーツをとりあげ、用具の製作や競技施設に関わる区内中小企業を紹介する冊子を製作し、世界で活躍するアスリートを支える中小製造業の魅力を発信する。

< 東京都地域持続化支援事業申請中 >

【背景】墨田支部では、毎年、近隣の江東、足立、葛飾、江戸川の城東地域の支部、近接する浦安商工会議所と共催でエリア内にある実業系高校の就職担当教員と企業の採用担当者による情報交換会を開催し、区内企業と地域内で就職を希望する高校生とのマッチング支援事業を行い、参加希望企業は定員を上回り、キャンセル待ちが出る状態であり、企業のニーズ、期待の高さを感じている。

一方で、墨田区はモノづくりのまちであるが、社会経験の乏しい若年者にとってはイメージしづらい物を製造している事業者も多く、「中小企業の魅力」を若年求職者に伝えることが大きな課題となっている。

(上述の「就職情報面接会」は過去 1 2 回開催されており、実業系高校就職担当者との連携が図れる。)

2 月末 区内会員調査実施予定